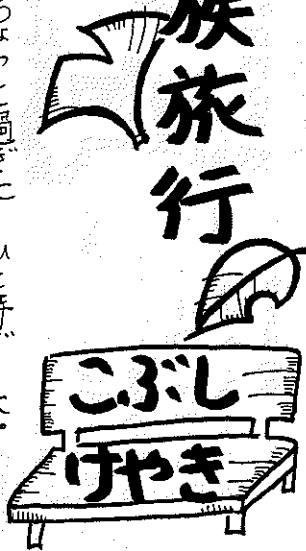


こぶしだより 第210号
 発行 宇都宮市柳田町1401
 ☎0286(62)1911

家族旅行



紅葉の見頃もちょっと過ぎた
 十月三十日、三十一日の二日間
 こぶし、けやき作業所合同恒例
 家族旅行が実施されました。行
 き先は日光・足尾方面の一泊の
 旅。今回は観光バス、遊覧船、
 鉄道と乗り物三本立てとなりま
 した。乗り物大好きな仲間たち
 と「温泉場をゆくりしたい」とい
 う家族の方々の要望に心え
 て(?)計画されました。主
 なコースは一日目、各作業所出
 発、今市杉並木公園で合流、見
 学、中禅寺湖畔で昼食後、遊覧
 船「けごん」に乗船、湖を一周
 して宿泊地、光徳温泉にある
 日光アストリアホテルに泊まり
 ました。中禅寺湖めぐりでは
 静かなすみきった湖面に映る
 男体山や周囲の木々の姿に「わ
 あ、きれい!!」の感嘆の声があ
 げたり、室内ではコーヒー
 を飲みながら親子で、お母さん
 同志でゆたりと、たぷぷりと
 おしゃべりを楽しむ姿がありま
 した。まるで時が止ったような



ひと時でした。
 宿泊先では、去る七月に行
 なわれたナイスハートバザー
 ルの舞台で一緒に踊った、結城
 市の「劇団愛珠沙華」の皆さ
 んの飛入りによる踊りの数々
 に大いに盛り上がった宴会。
 露天風呂に輪になってつかり
 ながら見上げた夜空の星のき
 らめきにロマンチックな気分
 になったり、仲間同志の交流
 を深め合ったり、そして、生

若施設についての懇話会に多
 勢参加し意見を交換したりと
 楽しく充実した夜を過ごしま
 した。
 二日目は、足尾親水公園見
 学の後、間藤駅からわたり
 せ渓谷鉄道に乗り大間々駅下
 車後、桐生織物センターで昼
 食、帰路につきました。渡瀬
 川を右へ左へと揺れながら、
 車中では車内販売のおまんじ
 うをほおばったりしなごうの
 ごかな時と共にこっくり居眠
 りも出たのでした。
 総勢九十二名の大所帯での
 旅で、色々な配な面もありま
 した。が、何事もなく楽しい
 旅の一ページを作る事ができ
 ました。
 (鈴木)

けやき作業所 建設工事 いよいよ始まる!!

国の補助金が
 なかなか決まら
 ず、ずいぶんこ
 遅れをとり皆さ
 まにやきもきさ
 せていました。け
 やき作業所建設
 計画でしたが、
 過日九月二十日
 (土)地鎮祭もけ
 やき・こぶし作
 業所両後援会
 長ほか多数の参
 加者の中滞りな
 くすませること
 ができ、ようやく
 着工の段へと
 運ぶことができ
 ました。
 今、けやき作
 業所にはブルドーザーやパ
 ーシヤベル等、続々と重機が
 持ち込まれ朝から晩まで稼働
 しています。
 現在、ほぼ基礎ができあが
 るところです。楽しみみです
 ! 完成は、来年五月の予定
 です。
 見学は自由です。いつでも
 遊びにきてください。
 (成田)



シリーズ
こぶしの 実践
 (ベアリング班)
 こぶしでとり組んでいる作
 業の中で、一番古くから関
 っているのがベアリング作業で
 す。これは無認可時代の頃か
 ら約20年続けられて、いま
 単価は種類によって若干差が
 あり、平均して一個あたり3
 円〜4円、月にしては12万円前
 後になります。
 班の構成としては17名の大
 所帯で班長と副班長2名が、
 日の作業の段取りをたたり、

材料を分けたりとそれぞれ
 の役割を担っています。
 現班長の松永君は、当初バ
 スに使うパイプの切断をする
 作業を佐々木君と担当してい
 ました。自分自身もその作業
 を大変気に入って、いまは
 受注量が増えなくなって二人で
 作業に入ることがなくなり、
 ベアリング作業に入るようにな
 りました。それでも松永君
 にとっては大好きなパイプ作
 業への思いは断ち難く、ベア
 リングを作りながらパイプの
 方を眺めていたり、何度もパ
 イプの方へ行ったりもしてい
 ました。そんな松永君でした
 が、ベアリング作業の中で、
 その日の作業する順番を
 決めたり材料の型番を識別
 するラベルの読みとりを覚
 える、数量の確認、納品カ
 ードの記入等々の任務を序
 々に増やしていきました。
 そんな中でも「自分の好き
 な材料をやりたいから」と
 急ぎの型番を後まわしにし
 たり、できたベアリングを
 並べて形や文字をつくるこ
 とに終始したりとの失敗?
 をくり返し、〇〇したいけ
 ど今はこうしなければ...
 という意識を持つようにな
 りました。また、それまで
 の松永君が集団の中でまわ
 りの仲間の存在をあまり意
 識することがなかったのに
 対し、今は仲間とふさげ合
 う姿が見られたり、〇〇が
 いいという気持ちも表われ
 ています。
 障害に悩める、大集団
 の中で、苦勞しつつも、み
 んなに存在を受け入れられ
 ながら輝いている松永君の
 姿があります。
 (荒井)



みんなの地

'97

II月

けやき作業所の内示があり、すでに工事も始まっている。施設や設備などハード面もだが、ソフト面の準備も少しづつ始めている。その核となるのが職員採用である。出遅れた上に、おとすれた就職希望者には、自分自身の決意も含め、けやき作業所の仕事の厳しさを伝え習かしているのだが、それでも50人近い応募があった。

全国的には、2名の募集に4、50人が殺到するという状況だ。福祉人材センターには数百人の就職未定の学生たちが登録しているという。今はハローワークというので、職安も求職者でいっぱいだが、職安も求職者でいっぱい。予算の削減は猛烈な勢いで動き出した。こうした現実はいまや、やりたわれわれにも具体的な形で身のまわりに見えるような時代に入ってきている。

長い間福祉施設は利用者を保護育成してきたせい、職員も、うっかりすると社会の現実から隔離されかねない。現代日本の中枢に位置する金融機関がバブル期の不良債権を抱えぐらついている。規制緩和に對抗するため大企業は生産を外国に移している。国家財政は高度成長期の公共投資

資を湯水のごとく赤字国債を発行しつづすため、そのつけでかんじがらめのところへバブルのしりぬぐいと税収の穴が襲いかかっている構図だ。当然、財政再建、年金、医療、福祉の大改革、そして障害者に対する削減は猛烈な勢いで動き出した。こうした現実はいまや、やりたわれわれにも具体的な形で身のまわりに見えるような時代に入ってきている。



(鬼やんま)

障害者文化祭

カルフルとちぎ

去る12月13日、14日、宇都宮市文化会館・明保野体育館等において、カルフルとちぎ'97(障害者文化祭)が開催されました。今回も両日とも出席し、石けん・リース・テッポウシユケースなどの手づくり品を販売しました。又、14日には全員でステージに出演しま

した。一昨年はママさんコーラスの方々の合同ステージでしたが、今年は共作連とちぎに加盟している4作業所(こぶし・けやき・キスグ・ゆうの家)の仲間たちによる「ひろがれ合唱団」として、こぶしを向いて歩こうの2曲を披露しました。



日々作業に追われて、満足に練習している中、満足に練習することほとても困難でしたが、その様子、特に新しいことにチャレンジしたけやきの様子を中心に、こぶしとちぎと御紹介したいと思います。

(事前)に全作業所で集まって練習することはむずかしいので、テープを使ってそれを練習し、当日初顔合わせでいきなり本番というとても無謀なとり組みでした。

(けやき)
テープが届いたその日から、作業中のBGMとして流したところ、みんなの歌だ!と言ってくすさみ始めました。副所長のギターに刺激され、楽器やりに「ア」とNさん。今でいい仲間、要望をくみとり、職員を検討した結果、カズーを購入することに

今年も大成功! けやき... 芳賀町民祭

皆様におかれましては益々ご清栄のこととご拝察申し上げます。さて、この度、「障害者の作業所けやき作業所支援チャリティーバザー」(芳賀町民祭)に際しましては、暖かいご理解のもとに多大のご協力、ご支援を賜りましてまことに有り難うございました。おかげさまで、チャリティーバザーは、下記のようなうれしい好成績を得ることができました。

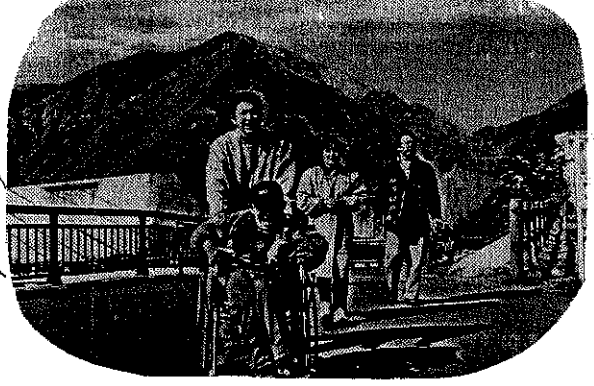
総売上	1,063,594円 (寄付金を含む)
必要経費	115,702円
差引純益	947,892円

この純益は現在、工事進行中のけやき作業所増築および、けやき作業所「デイビスセンター」新築のために有効に使用させていただき所存でございます。今後ともよろしくご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

1997年 12月 敬具

たり、とびはわたり、皆それぞれに、ホーズをとって大喜びでした。

本番では多くの仲間たちが、カズー・タンバリン・鈴などを手に、緊張しつつも元氣いっぱい歌うことが出来ました。総勢86名という大合唱団でのステージ、他の作業所の仲間たちとの交流もあり、皆で楽しく参加できたことで、また一つ、共通の思い出が増えました。



家族旅行の思い出